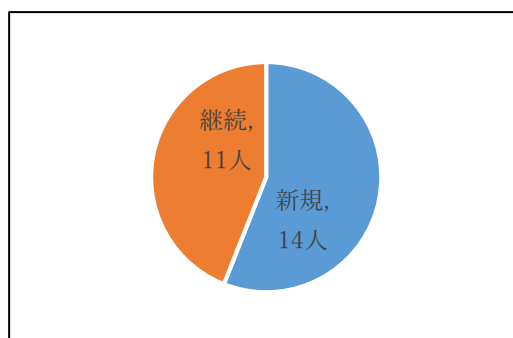


令和6年度 障害者検診事業 まとめ

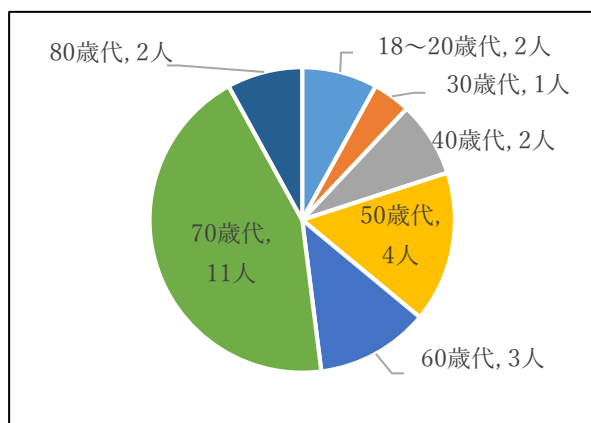
○ 実施状況

会場	実施回数	受検者数
リハビリテーション 支援センター	6回	18人
大崎	1回	4人
気仙沼	1回	3人
計	8回	25人

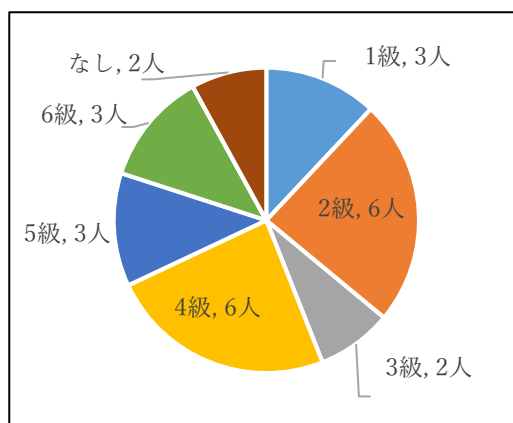
○ 受検状況（新規・継続別）



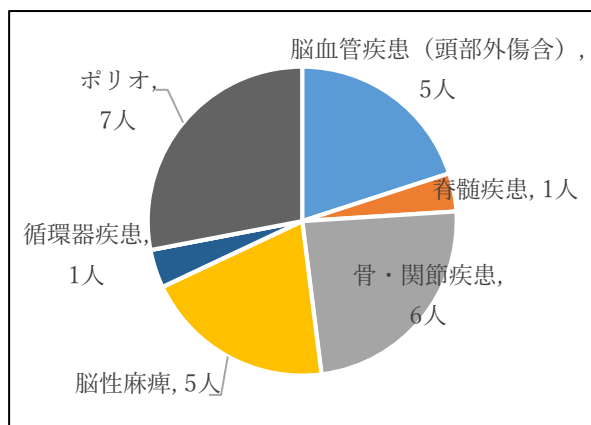
○ 年齢構成



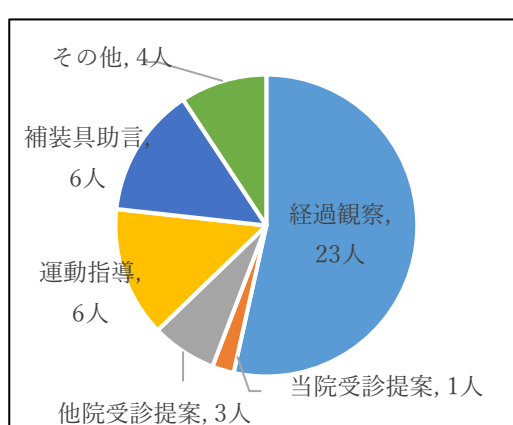
○ 身体障害者手帳の所有状況



○ 疾患



○ 医療相談における助言内容（複数）



【アンケート】

- 『検診は役に立った』（25人）、『現在の自分の身体状況を確認できた』（24人）
- 自由記載：「詳しく（細かく）検診していただき身体の状態が良くわかりました」、「助言大変参考になりました。また今日からがんばる力がわいてきました」

【まとめ】

- ・ 新規は約6割、継続受検の方は約4割であった。60歳代以降の方が多く、ポリオおよび骨関節疾患の方で約半数以上を占め、移動やADLは自立している方が多かった。身体状況の確認を目的に受検された方が多く、受検者全員が「検診は役に立った」と回答していた。
- ・ 検診では、身体障害者（肢体不自由）の普段の生活や身体状況を確認し、運動指導や補装具助言するケースが多く、受診の提案をすることもあった。検診は、医学的治療が終了した方の身体機能面の再確認の場として活用されている状況であった。